

ごみを減らすために

環境にやさしい循環型社会を目指し、3Rの原則に基づきごみを処理することを基本方針に、まずはごみの発生・排出を抑制し(リデュース)、次に不用となったものの再使用に努め(リユース)、また、資源として利用できるものについては再生利用を推進し(リサイクル)、ごみの減量と限りある資源の循環を目指します。最後に、どうしても資源として利用できないものは環境への負荷の少ない方法で適正に処理処分を行います。

循環型社会とは、ごみをできるだけ出さないようにし、限りある資源を繰り返し利用していく社会のことです。

▶ごみを減らし、限りある資源を守るために心がけたい3つのポイントです。

Reduce リデュース..... **ごみを減らす**

Reuse リユース..... **繰り返し使う**

Recycle リサイクル..... **再生資源にする**



● ごみを減らす工夫をしてみませんか？

まずは **リデュース Reduce** **ごみを減らす**
ごみになるようなものは、できるだけ買わないようにしましょう！

- 過剰包装を断る。
- 量り売りやバラ売りしている食材を買う。
- 長期間使用できるものを買う。
- 使い捨て商品はなるべく買わない。
- 生ごみの水はよく切る。



詰め替えできる商品を選び、使い捨て商品は買わないようにします。



買物にはマイバッグを持参し、レジ袋はなるべくもらわないようにします。



食べきれぬ分だけ作り、食べ残しをしないようにします。



ごみの重さの約半分は生ごみ等の水分で占められています。

生ごみはできるだけ水を切るようにもう一しぼり！



過剰な包装は断ります。

次は **リユース Reuse** **繰り返し使う**
捨てる前にもう一度活用しましょう！

- リターナブルびんなど、再利用できるものを選ぶ。
- 衣服や、おもちゃなどを兄弟姉妹や友達の間で譲り合う。
- ビールびんなどは、お店へ返却する。
- チラシはメモ紙に、古着は雑巾などに再利用。



不用になった生活用品、衣類などは、リサイクルショップやフリーマーケットに出したり、必要な人に譲ったりしましょう。

最後に **リサイクル Recycle** **再び資源に**
分ければ資源になるものが、もえるごみやもえないごみにたくさん混ざっています。もっと分別しましょう！

- ごみは必ず分別して出す。
- 生ごみはコンポスターやEM/バケツを活用し、堆肥として再利用する。
- 地域や学校などの集団回収に積極的に参加する。



ちり紙や汚れた紙を除き、紙の大部分はリサイクルできます。

携帯電話や使い捨てカメラ、パソコンプリンタ用インクカートリッジなども販売店等に返すようにします。



食品などの入っていた白色トレイは店頭回収協力店に返すようにします。

包装紙や紙箱、封筒などの紙も雑誌と一緒に古紙として分別します。

ごみを減らすために ①

ごみの出し方 ②

地域別ごみ収集日一覧 ③

もえるごみ ④

もえないごみ ⑤

資源ごみ (びん) ⑥

資源ごみ (古紙) ⑦

資源ごみ (ペットボトル) ⑧

粗大ごみ ⑨

水銀含有ごみ ⑩

市で収集しないごみ ⑪⑫

粗大ごみ品目手数料一覧 ⑬⑭⑮